

生い立ち

子どものころ、私はバコオールで生まれて、5人家族で育ちました。家族は母、父、私(いちばん上の子)、そして弟が2人です。私たちは愛と笑顔がいっぱいの家族でしたが、ある日、生活はとても大変になりました。

2014年に父が亡くなつたからです。私はまだ小学校4年生で、とても小さい時に父をなくしました。父は私をそだて、みちびいてくれる人でした。父がいなくなつて、私たちは4人家族になりました。

父の死は、家族にとってとてもつらいことでした。父は家族の力であり、道を教えてくれる人だったからです。父がいなくなつてから、生活はもっと大変になりました。母は私たちの生活のために、そして私たちの教育のために、毎日一生けんめい働きました。私は小さいころから、「生活はかんたんではない」と気づきました。

だから、高校を卒業したあと、私はすぐに18才で工場ではたらくことにしました。母を助けるためです。母は父のかわりにもなり、私たちに良い生活をあげようがんばっていました。私は弟たちの教育や毎日の生活のために、一生けんめい働きました。仕事をしながら、私は思いました。

「この生活のままではいやだ。家族にもっといい生活をあげたい」と。

その時から、私は外国ではたらく夢を持ちはじめました。そして、日本を目標にしました。日本は給料が高く、技術も進んでいるからです。

その後、私はケンジミン日本語学校のことを知りました。そこは日本ではたらくチャンスをくれる学校です。そこで私は日本語の勉強を始めました。日本語の勉強はかんたんではありませんでした。たくさんの単語や文法を勉強するため、ねむれない夜もありました。でも、日本で働きたいという気持ちが強かったので、私はあきらめませんでした。

そして、日本語能力試験(JLPT)N4に合格するためにがんばりました。

がんばったかいがあって、私はJLPT N4に合格しました。今、私は「夢の国」である日本ではたらくという夢をかなえるためにがんばっています。

もし日本で働くチャンスをもらえたなら、日本語を勉強した時と同じように、しごとでも全力でがんばります。

子どものころの経験は、私の心にずっとこっています。その経験が今の私をつくりました。子どものころのすべての大変なことやうれしいことは、これから的人生の力になり、わたしを前にすすめてくれると思います。